

11月23日、伝統野菜の田沢ながいもを販売する「まぼろしの田沢ながいもまつり」が田沢湖病院前で開催されました。今年のがいもは昨年よりもできがよいとのこと。市場にあまり出回らないながいもを買い求めに約80人が訪れ、1時間ほどで完売しました。東京から来たという女性は「昨年も買って、友だちからの評判もよいのでまた買いに来た。甘みが全然違って美



美味しいながいもを買い求めようとたくさんの方が訪れました。

味しい」と話しました。この日販売したのは、生産者である田中昭一さんと田中勇幸さん。昭一さんは「田沢ながいもは粘りがあって甘味があるというのがポイント。ただ大きいだけでなく、自然に近い形で大きくまっすぐ育てるのが理想」と、勇幸さんは「何十年も自分のうちで種芋をつくり育てている。手作業で掘って、土を落とす作業が大変」と話しました。



数量限定で販売された秋田杉の箱に入った贈答用のながいも。

まぼろしの田沢ながいもまつり
美味しいながいもはいかが？

「拠点校・協力校英語授業改善事業」公開研究会
生保内小学校・中学校で英語の公開授業

Good!
Great!
Excellent!



生保内小学校の授業の様子。

国際感覚や英語力を身につける国際社会で活躍できる人材を育てることを目的に秋田県が実施している「AKITA英語コミュニケーション能力強化事業」のアクションプランの一つとして、11月19日に生保内小学校と生保内中学校で「拠点校・協力校英語授業改善事業」公開研究会が行われました。

当日は、県内の教育指導者や小・中学校の先生が生保内小学校4・6年生と生保内中学校1年生の英語の授業を参観しました。両校の生徒たちは、たくさん参観者に緊張していました



英語でお互いに説明しあう4年生の児童たち。

が、自分の伝えたいことを英語でどのように話そうか一生懸命に考えながら、相手との会話を楽しんでいました。

生保内小学校4年生は、実際の校内マップを使いながら、カードに書かれた場所を道案内し、その場所のお気に入りの理由を紹介する授業。伝え方がわからないときには、知っている単語を並べたり、ジェスチャーを使ったりして伝えていました。授業の最後には「いろいろな単語を知ることができてよかった」「表現が難しかったけどジェスチャーなどを使って伝えられて



生保内中学校では英語による採用面接に挑戦。

よかった」などの感想がありました。

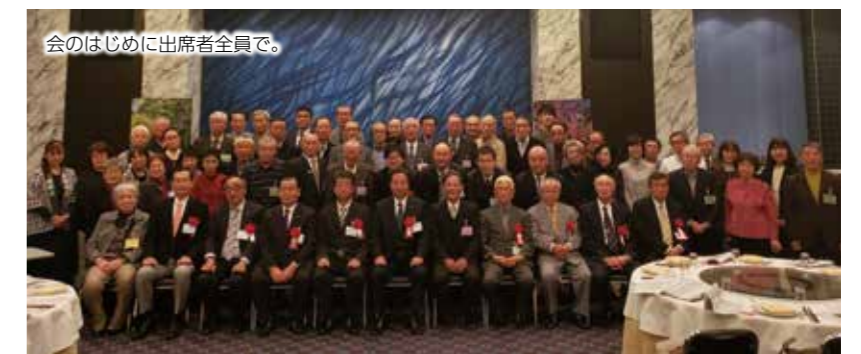
生保内中学校では、英語で企業の採用面接にチャレンジ。面接官役は、採用するための「やる気」「内容」「態度」を評価するために、受験者に様々な質問を投げかけていました。一方、受験者役は質問に対して、ジェスチャーを交えながら自分の考えを一生懸命に伝えていました。授業の最後には「面接官で、アドリブでたくさん話すことができた。受験者では、最後までスラスラ悩まずに話すことができた」と振り返りました。

11月16日、ホテルモントレ半蔵門（東京都千代田区）を会場に第34回東京かくのだて会が開催され、来賓・会員あわせて65人が出席しました。

総会に引き続き行われた懇親会では、会員がお互いの近況や懐かしい思い出話に花を咲かせ、カラオケや福引きなどが行われるなど会場は大いに盛り上がりました。

また、仙北市のお菓子や漬物などの特産品が販売され、ふるさとの味を懐かしむ声が聞かれるなど、好評でした。

第34回 東京かくのだて会



会のはじめに出席者全員で。

白熱の戦い
第15回 仙北市民卓球大会



息をのむ熱戦が繰り広げられました。

11月17日、「第15回仙北市民卓球大会」が角館中学校体育館で開催され、選手たちが熱戦を繰り広げました。成績は次のとおりです。

- 【各種目1位・敬称略】
- 団体戦／てくてく倶楽部A
 - 個人戦／▶一般男子1部 阿部多馬（てくてく倶楽部）▶同2部 阿部大和（てくてくエリートアカデミー）▶同3部 田口達生（たざわ湖スポーツクラブ）▶一般女子2部 大澤多恵子（Artisan）▶同3部 坂本澄子（たざわ湖スポーツクラブ）▶小学校低学年 田中結愛（てくてくエリートアカデミー）▶同高学年 藤川煌（てくてくエリートアカデミー）

角館公民館だより
創刊から50号に
きずな

角館公民館が編集・発行する公民館だより「きずな」（角館地区のみ配布）が12月1日号で創刊50号を迎えました。

平成23年5月の創刊から2か月に1回の発行、手書きによる紙面作りで、これまで生涯学習の情報や地域の様々な場面で行動する人などを紹介し続け、節目の50号となりました。

「きずな」は今後も生涯学習を深め、地域の輪を広げるために様々な情報を皆さんにお届けしていきます。

平成23年5月に創刊した第1号。



第50号を迎えた12月1日号。



令和元年全国暴力追放運動中央大会

武藤松雄さんが
功労者表彰の金章を受章



若月浩志署長(右)に暴力追放功労者表彰の金章受章を報告した武藤さん(左)。

11月27日、明治記念館(東京都)で開催された「令和元年全国暴力追放運動中央大会」で仙北地区暴力追放運動推進委員会の武藤松雄委員長が、暴力追放功労者表彰の金章を受章しました。

武藤さんは、平成3年から暴力団排除活動に参画、平成6年の同委員会設立時から現在まで委員長を務めています。これまで暴力追放の啓発活動を積極的に進めたり、暴力団排除を目的とした各種グッズを考案するなど、長年にわたり地域の暴力団排除活動に貢献、地域の安全・安心の確保への功績が認められ、栄えある今回の受章となりました。

11月29日、仙北警察署に受章の報告に訪れた武藤さんは「多くの方々のご指導とご協力があった今回の受章だと深く感謝している。これまでの経験を生かして地域の安全・安心のために今後も頑張っていきたい」と話しました。

第69回全国高等学校PTA連合会大会京都大会

柏谷真一さんが全国表彰

この度、ロームシアター京都・京都市勤業館みやこめっせ京都で開催された「第69回全国高等学校PTA連合会大会京都大会」で、角館高校元PTA会長の柏谷真一さんが地域の高等学校教育の振興に貢献したとして会長表彰(個人)を受賞しました。

柏谷さんは、平成24年から角館高校のPTA役員となり、平成28年度から3年間PTA会長を務めました。その間にも秋田県高等学校PTA連合会副会長や東北地区高等学校PTA連合会代議員を務め、平成30年度には、同大会佐賀大会で東北地区を代表して角館高校のPTA活動

第54回秋田県中学校秋季柔道大会

角館中学校の生徒が活躍

11月3日・4日、秋田県立武道館(秋田市)で第54回秋田県中学校秋季柔道大会が開催され、角館中学校の福島誠之介さんが優勝、3人が3位に入るなど活躍しました。

大会結果(敬称略)

男子個人戦	55キロ級	優勝	福島誠之介(1年)
	60キロ級	第3位	鎌田宇朗(2年)
女子個人戦	52キロ級	第3位	児玉さくら(1年)
	63キロ級	第3位	加藤希望(1年)



左から、鎌田宇朗さん、福島誠之介さん、加藤希望さん、児玉さくらさん。

仙北市包括支援センターから

11月16日

「支え合いの地域づくり」
担い手養成講座フォロー
アップ研修会を開催!

11月9日に引き続き、11月16日、西木温泉ふれあいプラザクリオンで「支え合いの地域づくり」担い手養成講座フォローアップ研修会を開催しました。

この講座は、保健課で行っている「自殺予防対策事業・居場所づくりセミナー」と共催です。

講師に秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻准教授の佐々木久長氏を迎え、「お互いに寄り添う大切さ」今、自分ができること」と題し、講義をいただきました。すでにサロンの開催や声かけなど、地域で実際に活動している方の参加が多く、先生の講義を通じて、お互いに寄り添うことの大切さを実感する研修会となりました。



寄り添うことの大切さを再確認した研修となりました。

11月9日

「支え合いの地域づくり」
担い手養成講座基礎編を
開催!

仙北市では、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指して様々な取り組みをしています。その一つとして、平成29年度から「支え合いの地域づくり」担い手養成講座を行い、地域のちよとした困りごとのお手伝いをしてくれる方に受講していただいています。

担い手養成講座を受講した方の中で希望される方は「み出し」などの生活支援や集いの場、話し相手などの活動を行う「仙北地域かがやき隊」に登録します。講座を受講した皆さまには、これから一層の地域での活躍を期待しています。



支え合いの地域づくりについて、参加者は講師の話に熱心に耳を傾けていました。



会長表彰を受賞した柏谷真一さん。

の事例発表を行いました。

PTA活動を通して生徒の健全育成や学校と地域との協働を進めてきたことが評価され今回の受賞となりました。

令和元年度優良PTA文部科学大臣表彰

神代中学校PTAと
大曲支援学校せんぼく校PTAが受賞

この度、神代中学校PTAと大曲支援学校せんぼく校PTAが優秀な実績を上げている団体として優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました。

今年度は全国から129団体、秋田県からは3団体が表彰されました。

神代中学校PTAでは、「地域清掃活動」「プルタブアルミ缶回収」「抱返り溪谷クリーンアップ」「高齢者宅除雪ボランティア」を四つの柱とした四季のボランティア活動などをサポートしています。地域の方々と協力しながら取り組む、今では生徒に身につけている伝統的な活動となっています。

会長の平岡太一さんは「普段から行っている活動を認めていただいた。会員が減少し活動が厳しくなっていくことが予想されるが、地域の方々と協力して地域に根づいたボランティア活動を続けていきたい」と話しました。

大曲支援学校せんぼく校PTAでは、校内にある国の天然記念



左から戸澤教育部長、神代中学校の木元哲校長、同校平岡太一PTA会長、大曲支援学校せんぼく校の草薙政弘PTA会長、同校高橋謙副校長、熊谷教育長。

物に指定されている枝垂れ桜の手入れや、春と秋に観光客へ向け大鼓演奏や歴史案内を行うおもてなし活動のサポートなどを行っています。

会長の草薙政弘さんは、「PTAと先生たちの生徒の活動に協力したいという思いがマッチして活動を行うことができています。校舎の桜については後世に継承するように子どもたちに教えられる範囲内で活動を展開していきたい」と話しました。